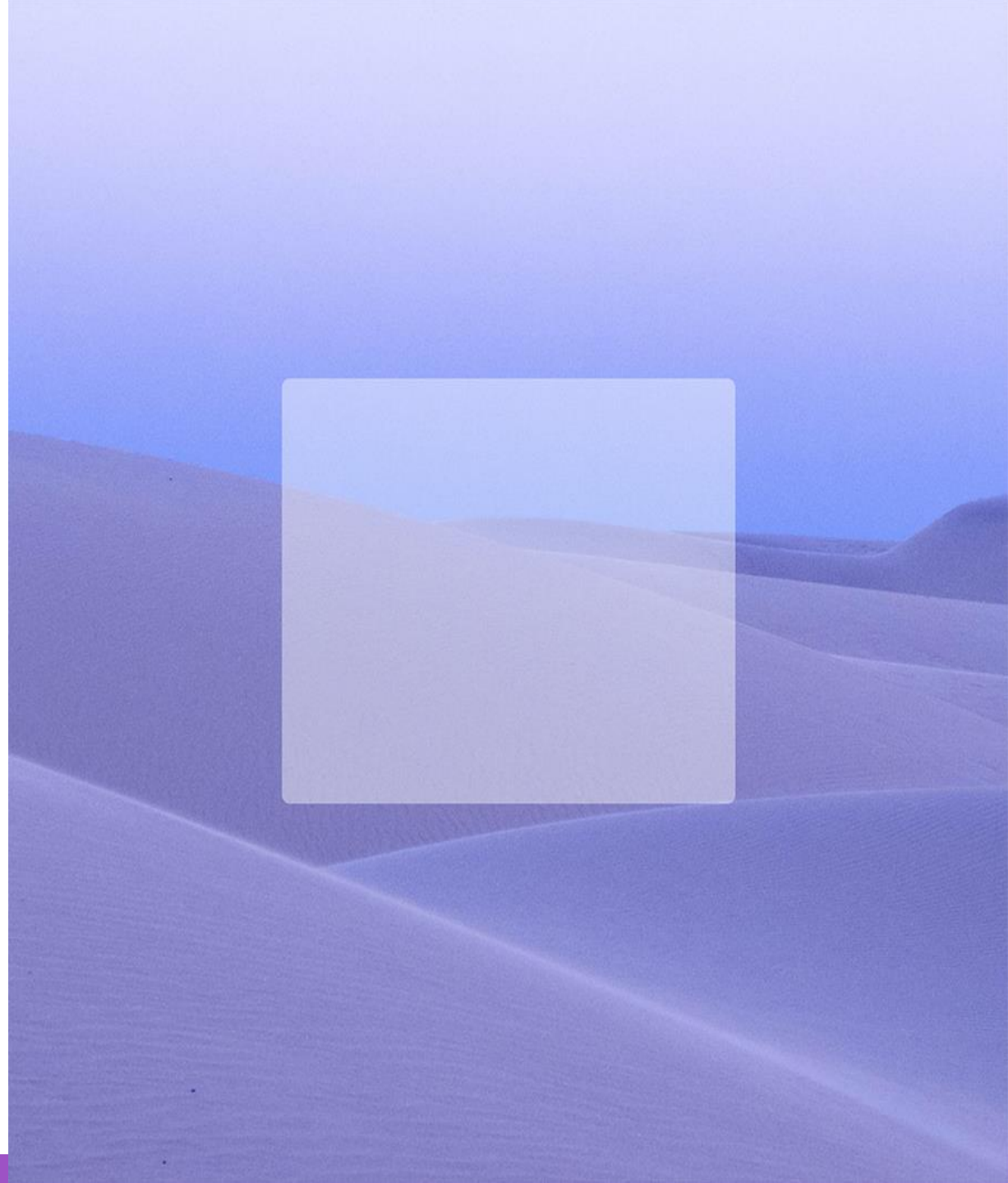




製薬企業様向け Copilot for Microsoft 365 シナリオ・プロンプト集

日本マイクロソフト株式会社
パブリックセクター事業本部

MR向け シナリオ・プロンプト集



MR向けシナリオ・プロンプト①

想定シナリオ

- MRが医師に対して地域医療連携についてヒアリングを実施（Teams会議）
- 全体で20分ほどのヒアリングを実施。**Copilot in Teams**で議事録作成ならびにネクストアクションを整理



山田花子 MR 0:13

鈴木先生いつも大変お世話になっております。マイクロソフト製薬の山田です。本日もお時間いただきありがとうございます。今日は鈴木先生が力を入れていらっしゃる緩和ケアについて、弊社としても何かお役に立ちたいと考えており、現在の活動や課題などありましたらお聞かせいただけますでしょうか？



鈴木太郎 医師 0:36

緩和ケアは初期・末期間問わずいつでもどこでも受けられるべきですが、ご存知の通り現状はほとんどのがん患者さんが病院で亡くなっています。そこでまず私が重要だと考えているのは、在宅ケアの提供体制を確立して設備を充実させたり、拠点病院と地域の連携を強めたり、早期から緩和ケアに介入したりすることです。ゆくゆくはこの取り組みがモデルケースとなって他の地域の診療現場にも広まることを目指しています。患者さんとそのご家族が、住み慣れた場所や地域などそれぞれご希望の場所で QOL を維持、向上することが一番大切で、それを実現するために妨げとなる問題はなにか、具体的にどのような体制が不足しているのか、2年ほど前からいろんな取り組みと検証を進めています。



山田花子 MR 2:06

ありがとうございます。実際に、病院や診療所、薬局や居宅など既に数十の施設が協力して緩和ケアネットワークを作っていると伺っています。具体的にはどのような取り組みをしているのでしょうか？



鈴木太郎 医師 2:20

例えばがん相談窓口を医師会で開設して、医師、看護師、薬剤師など緩和ケアに携わるすべての人を対象に、がん医療や緩和ケアに関する相談や教育を提供しています。コメディカル以外にも住民の相談も受け付けていて、痛みや症状に関すること以外にも、食事や睡眠、心理的面など日常生活のこと、患者さんのご家族向けのサポートなど幅広く情報提供しています。緩和ケアは非がん患者さんも対象になっていて緩和ケアの範囲は広がっていますが、まだ緩和ケア病棟がない施設もあるので、そのようなところは定期的に情報交換会や勉強会を実施しています。例えば、医療用麻薬は患者の痛みを和らげるために重要ですが、適切な使用と管理が課題になっています。医師や看護師、薬剤師からより一層丁寧な説明と服薬指導が必要になるため、患者さんが適切なタイミングで投与してきちんと効果が発揮できるようにするためには日常的

MR向けシナリオ・プロンプト①

Copilot によって生成されました。精度を確認してください。

会議のメモ:

- **緩和ケア普及のための取り組み:** 鈴木太郎 が、緩和ケアの普及と標準化、地域連携の強化、診療ガイドラインへの反映などを目指していることを説明した。1
- **市の在宅医療ネットワークの構築:** 在宅医療に熱心な医師のグループが 2020 年に発足したコミュニティが、病院と診療所の連携を強化して在宅医療の質と量を向上させたことを鈴木太郎 が紹介した。2
- **薬剤師の在宅医療への参加:** コミュニティの受け皿として市の薬剤師在宅医療研究会が 2022 年に発足し、プロジェクト協力施設として 53 の保険薬局が参加しており、地域緩和ケアチームのメンバーとして薬剤師が専門的コンサルテーションや教育を担当していること、また、医療用麻薬や在宅薬剤指導などの活動をしていることを報告した。3
- **病院と在宅スタッフの連携の強化:** A大学病院と B 市民病院でハイリスクカンファレンスを開催し、在宅以降に課題となる症例を病院と在宅スタッフが合同で検討することで、早期からの退院支援を促進していることを鈴木太郎 が示した。4
- **在宅死亡率の上昇とプロジェクトの成果:** 市内の在宅死亡率はコミュニティ発足後上昇し、地域連携の成果が現れたことを鈴木太郎 が誇らしげに伝えた。5
- **今後の目標と展望:** がん以外の疾患も含めた緩和ケアの標準化、地域連携強化を鈴木太郎が宣言した。6

実施項目:

緩和ケアの普及:

- 緩和ケアの普及と標準化のために、成果を診療ガイドラインなどに反映させる

退院支援の強化:

- 退院支援の強化のために、ハイリスクカンファレンスを他の病院でも開催するように働きかける。(山田花子, 鈴木太郎, 薬剤師) 4

薬剤師のスキルアップ:

- 薬剤師のスキルアップのために、注射薬の抗がん剤に対応するための勉強会などを実施する。(山田花子, 薬剤師) 3

④  鈴木太郎

Transcript | 00:08:52

うちの在宅スタッフが、早期から退院支援に関与する必要性をずっと病院側に働きかけていて去年秋頃ついに A 大学病院の地域医療連携センターでハイリスクカンファレンスが実施されるようになったんですよ。

ア推進連結協議会の

MR向けシナリオ・プロンプト②

想定シナリオ

- MRが医師向けに講演依頼書を作成する
- ドラフト作成を**Copilot in Word**で実施

プロンプト内容

命令

あなたはマイクロソフト製薬に勤務するMRです。
マイクロソフト製薬が主催する胃がんに関するシンポジウムを予定
そのシンポジウムの中で東京病院の鈴木太郎先生に講演依頼の依頼書を作成してください。

シンポジウムのテーマ

- 胃がんと生活習慣の関係性

条件

- 企画書のタイトルは「講演の御願い」としてください
- 最初に丁寧な挨拶文を入れてください。
- 開催日は2024年8月25日としてください。
- 他のセッションには、東京大学医学部 教授 から「胃がんの予防と早期発見の重要性」、国立がん研究センター 所長 から「胃がんの最新の治療法と展望」、パネルディスカッションがあります。
- 会場は幕張メッセとしてください。
- シンポジウムのアジェンダは時間をつけ、テーブル形式で記載してください。
- シンポジウム開始時間は、13:00、終了時間は、17:30としてください。
- 鈴木太郎先生の講演時間は60分としてください。
- 謝金は5万円としてください



MR向けシナリオ・プロンプト②

出力

講演の御願い

東京病院の鈴木太郎先生

マイクロソフト製薬株式会社のMRを務めております、山田花子と申します。
このたびは、マイクロソフト製薬が主催する胃がんに関するシンポジウムにご参加いただき、誠にありがとうございます。

シンポジウムのテーマは「胃がんと生活習慣の関係性」です。
胃がんは日本人の死亡原因の第2位であり、食生活や喫煙などの生活習慣が大きく影響すると言われています。
鈴木先生は、胃がんの診断や治療において、日本を代表する権威であり、多くの研究成果を発表されています。

そこで、鈴木先生には、胃がんと生活習慣の関係性について、最新の知見をもとに、講演していただきたく存じます。
シンポジウムの開催日は、2024年8月25日（水）です。
会場は、幕張メッセ国際会議場です。

シンポジウムのアジェンダは、右の通りです。

時間	内容	講師
13:00～13:10	開会の挨拶	弊社代表取締役社長
13:10～14:10	胃がんと生活習慣の関係性	日本病院 鈴木太郎先生
14:10～14:30	休憩	
14:30～15:30	胃がんの予防と早期発見の重要性	東京大学医学部 教授
15:30～16:30	胃がんの最新の治療法と展望	国立がん研究センター 所長
16:30～17:00	パネルディスカッション	全講師
17:00～17:10	閉会の挨拶	弊社オンコロジー事業部長
17:10～17:30	名刺交換	

鈴木先生の講演時間は、13:10から14:10までの60分です。

謝金として、5万円をお支払いいたします。

交通費や宿泊費は、別途弊社で手配いたします。

舞黒先生のご多忙のところ、大変恐縮ですが、ぜひともご講演いただけますと幸いです。

ご検討のほど、よろしくお願い申し上げます。

マイクロソフト製薬株式会社
オンコロジー事業部 山田花子
電話：03-1234-5678

MR向けシナリオ・プロンプト③

想定シナリオ

- MRが社内報告のためにExcelに出力された売上情報をまとめる
 - クリニック1-50を担当
 - 販売した薬品は、ガストロックス、ベリカン、スタマイシンの3種類
 - 期間は2024/5/1-5/15
- 売上情報の集計を**Copilot in Excel**で実施

プロンプト内容

- ①2024/5/1から2024/5/10でガストロックスの納入本数が多い上位3施設はどこですか？
- ②2024/5/5から2024/5/15でベリカンの納入本数が少ない下位3施設はどこですか？

施設	医薬品	日付	納入本数
クリニック1	ガストロックス	2024/5/1	13
クリニック2	スタマイシン	2024/5/1	10
クリニック3	ガストロックス	2024/5/1	8
クリニック4	ベリカン	2024/5/1	3
クリニック5	ガストロックス	2024/5/1	4
クリニック6	ベリカン	2024/5/1	2
クリニック7	ガストロックス	2024/5/1	17
クリニック8	スタマイシン	2024/5/1	0
クリニック9	ベリカン	2024/5/1	10
クリニック10	ベリカン	2024/5/1	7
クリニック1	ベリカン	2024/5/2	8
クリニック2	ベリカン	2024/5/2	7
クリニック3	スタマイシン	2024/5/2	3
クリニック4	ベリカン	2024/5/2	10
クリニック5	スタマイシン	2024/5/2	11
クリニック6	ガストロックス	2024/5/2	11
クリニック7	スタマイシン	2024/5/2	10
クリニック8	ガストロックス	2024/5/2	5
クリニック9	スタマイシン	2024/5/2	7
クリニック10	ベリカン	2024/5/2	2
クリニック1	ガストロックス	2024/5/3	12
クリニック2	ガストロックス	2024/5/3	12

MR向けシナリオ・プロンプト③

①2024/5/1から2024/5/10でガストロックスの納入本数が多い上位3施設はどこですか？

施設	合計/納入本数
クリニック7	68
クリニック6	64
クリニック1	62
総計	194

2024/5/1から2024/5/10でガストロックスの納入本数が多い上位3施設は、クリニック7、クリニック6、クリニック1です。

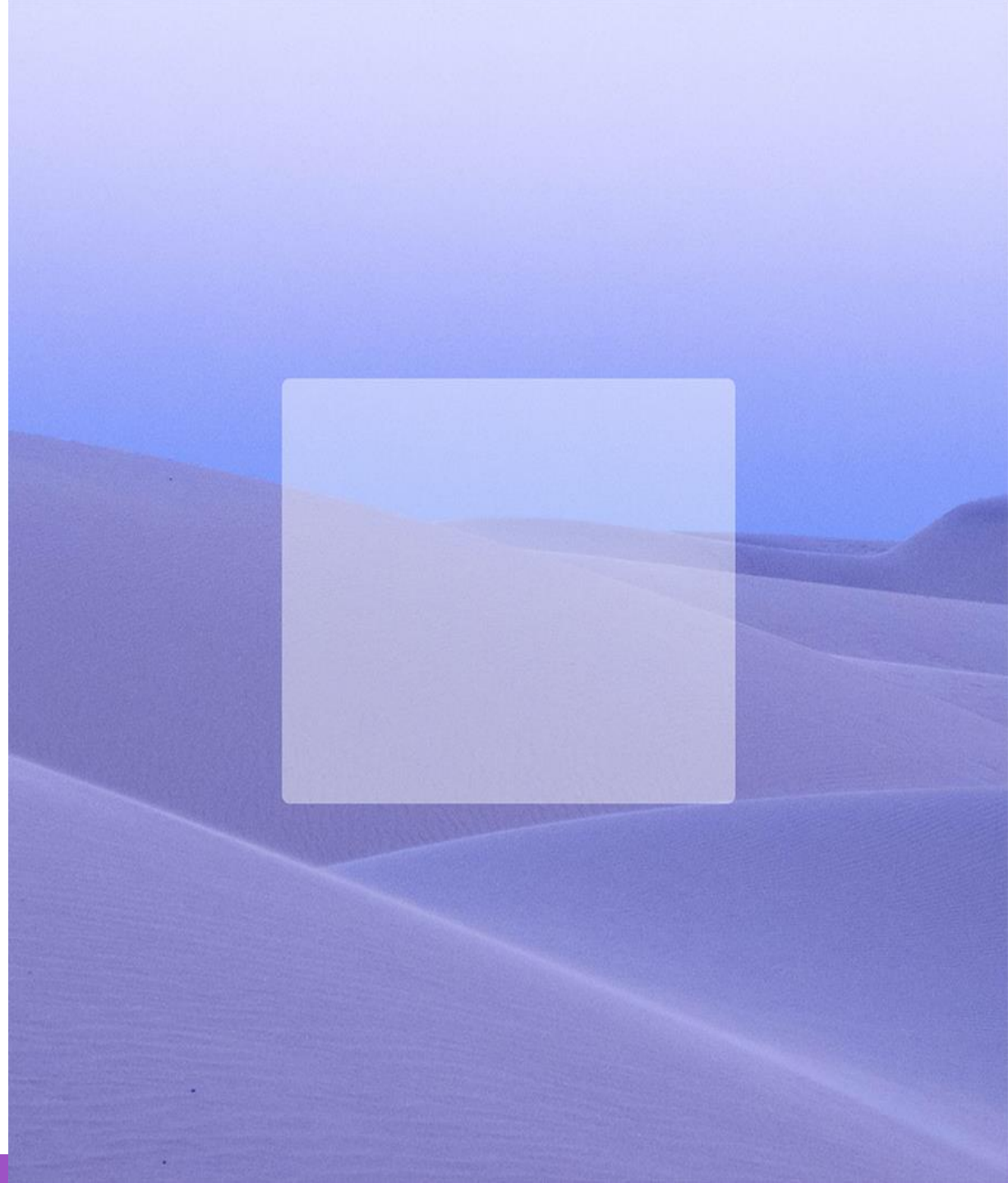
②2024/5/5から2024/5/15でベリカンの納入本数が少ない下位3施設はどこですか？

施設	合計/納入本数
クリニック6	36
クリニック8	38
クリニック9	40
総計	114

¥

2024/5/5から2024/5/15でベリカンの納入本数が少ない下位3施設は、クリニック6、クリニック8、クリニック9です。

研究・開発向け シナリオ・プロンプト集



研究・開発向けシナリオ・プロンプト①

想定シナリオ

- 創薬研究業務での機械学習の活用方法や可能性に関するレクチャーを米国拠点の研究者からの英語で講演
- 英語が苦手、もしくは、途中参加のメンバー向けに、**Copilot in Teams**で内容を日本語の解説を依頼
- 以下プロンプトとスクリプト（一部） ※全体で約30分程度の講演を想定

プロンプト内容：創薬研究の領域で機械学習ではどのような事を実現できると説明されていましたか。



Robert Researcher/Data Scientist

Today I will have the opportunity to explain you some of the work that we do at our company related to AI driven drug design and in particular I mean the pharmacokinetics department. And I would like to explain you how we include P and admin information into all these machine learning new workflows that are changing. The way that we are doing drug design, AI systems are currently used for drug discovery and little optimization efforts and actually machine learning models have permeated almost every step of the design. Make test and analyze cycle the PMTA cycle. For instance, the design of the molecules can already be done through generative modeling. As we have seen in previous talks and we can score either this AI based designs or human based designs with property prediction models which are based on machine learning. Once we have some compounds that we want to synthesize, we also have machine learning models that can help us how to plan the synthesis. And we've also seen some examples today and once we have the compound and we create a new experiments and new data points, then we can feed this data back to the model, improve our predictions and have a better loop.....

研究・開発向けシナリオ・プロンプト①

📄 すべてコピー

機械学習では、以下のようなことを実現できると説明されていました。

- 化合物の構造とADMEやPKの性質との関係を学習し、未合成の化合物の性質を予測すること。1
- 種間のデータを利用して、マルチタスク学習や転移学習を行い、データの少ない種や化学空間に対しても精度の高い予測を行うこと。2
- 生成化学のワークフローにADMEやPKの予測モデルを組み込み、化合物のデザインやスコアリング、優先順位付けを行うこと。3
- 既存の計算化学的な指標に代わって、大量のin vitroデータを活用して、in vivoの脳移行性を予測すること。4



④  Robert

Transcript | 00:18:20

Leveraging these large amounts of invitro data give us a good model that is currently being used internally, both to prioritize for instance, library and numeration, compounds, priority synthesis, but also to prioritizing.

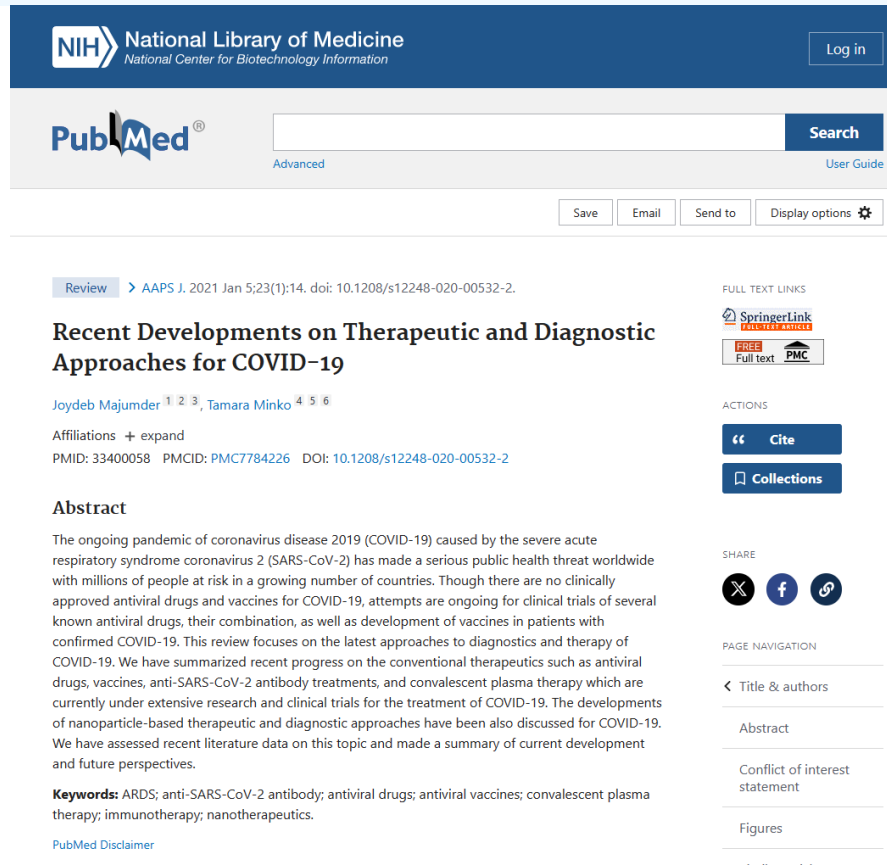
これらの機械学習の応用例は、薬物発見の効率化や品質向上に貢献すると期待されています。

研究・開発向けシナリオ・プロンプト②

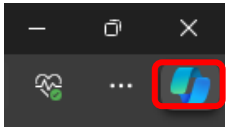
想定シナリオ

- 創薬研究業務でPubmedから最新の研究論文を調査
- 大量の論文調査に時間がかかるため、**Copilot (旧: Bing Chat Enterprise)** で内容を日本語で要約を得る

プロンプト内容：このページの概要を生成する



方法：

- Microsoft EdgeからPubmedの論文へアクセス
- ブラウザ右上のCopilotアイコンをクリック
 
- ページの概要を生成するボタンをクリック (左図参照) もしくは、検索枠で「ページの概要を生成する」と入力

研究・開発向けシナリオ・プロンプト②

このページの要約は以下の通りです：

- COVID-19の治療と診断: 現在のCOVID-19パンデミックに対する治療法と診断アプローチに焦点を当てています。
- 治療の進展: 抗ウイルス薬、ワクチン、抗SARS-CoV-2抗体治療、および回復期血漿療法などの従来の治療法の最近の進歩をまとめています。
- ナノ粒子ベースのアプローチ: COVID-19の治療と診断のためのナノ粒子ベースの新しい方法についても議論しています。
- 将来の展望: 現在の開発と将来の見通しについての要約を提供しています。

これらの情報は、2021年に発表されたAAPS Journalのレビュー記事からのものです。

リファレンス: pubmed.ncbi.nlm.nih.gov

?

Covid-19の治療法について詳しく教えてください。

ワクチン接種はどう進んでいますか？

ナノ粒子とは何ですか？

※上記、Copilotの回答を基に更なる内容の深堀や、用語検索検索などが可能です。

研究・開発向けシナリオ・プロンプト③

想定シナリオ

- 臨床試験から収集したデータの初期分析
- 簡易分析を**Copilot in Excel**で実施

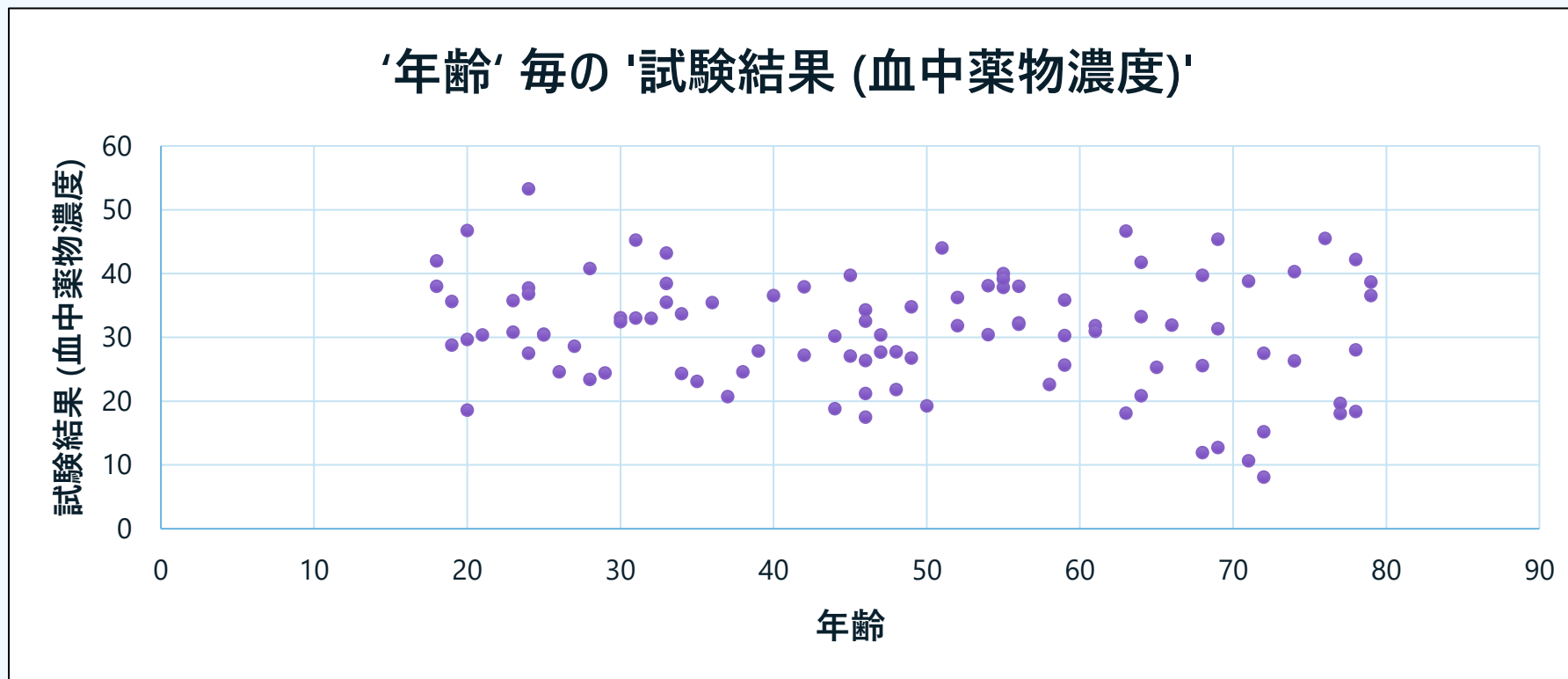
プロンプト内容：年齢、試験結果 (血中薬物濃度)の相関関係を分析し、グラフで表して。

項目説明：

- 患者ID: 患者の識別番号
- 年齢: 患者の年齢
- 性別: 患者の性別
- 試験結果: 治験での結果 (数値データ) ... 今回は血中薬物濃度を想定
- 試験日: 治験が行われた日付

	A	B	C	D	E
	患者ID	年齢	性別	試験結果 (血中薬物濃度)	試験日
1					
2	1	72	Female	27.49998245	2024-03-02
3	2	40	Female	36.51398165	2024-03-24
4	3	30	Female	33.05923488	2024-02-22
5	4	33	Male	43.17332725	2024-03-08
6	5	52	Male	31.82042696	2024-04-17
7	6	44	Male	18.80100324	2024-04-11
8	7	69	Female	12.70949611	2024-04-22
9	8	56	Female	32.24600187	2024-01-25
10	9	64	Female	33.22211205	2024-02-09
11	10	34	Female	24.29478425	2024-02-21
12	11	79	Male	36.51552129	2024-04-29
13	12	78	Male	42.19000569	2024-04-01
14	13	65	Female	25.27436466	2024-04-25
15	14	76	Male	45.47839095	2024-02-10
16	15	58	Female	22.58165595	2024-03-21
17	16	18	Female	41.95464627	2024-04-08
18	17	28	Female	23.39575484	2024-03-31
19	18	29	Female	24.3980653	2024-04-11
20	19	31	Female	32.98553042	2024-04-26
21	20	25	Male	20.50148108	2024-04-10

研究・開発向けシナリオ・プロンプト③



+ シートに追加

'年齢' と '試験結果 (血中薬物濃度)' の関係を散布図として表示しています。
テーブル1には、'年齢' と '試験結果 (血中薬物濃度)' のデータが含まれています。これらのデータを使用して、散布図を作成することができます。散布図は、2つの変数の関係を視覚的に表すのに役立ちます。また、相関係数を計算することで、2つの変数の関係の強さを数値化することもできます。

研究・開発向けシナリオ・プロンプト④

想定シナリオ

- 研究者やデータサイエンティストが社内になる研究データとAIを活用し、新しい抗がん剤の開発プロジェクトを企画
- ドラフト作成を**Copilot in Word**で実施

プロンプト内容

「AIとビッグデータを活用した新規抗がん剤の開発プロジェクト」企画書作成のための以下指示に従い資料を作成してください。

#プロジェクト概要: AI技術とビッグデータ分析を組み合わせた新規抗がん剤の開発を目的とする。このプロジェクトは、既存の薬剤データベースと最新の研究成果をAIが分析し、新たな薬剤候補を特定することから始まる。

#背景: 近年のがん治療は大きく進歩しているが、依然として治療困難ながん種が存在する。AIとビッグデータの活用により、これらのがん種に対する新しい治療法の開発が可能になると考えられる。

#目的: 本プロジェクトの目的は、AIとビッグデータを駆使して、新たな抗がん剤の候補を発見し、その有効性と安全性を予測することにある。

#方法: AIアルゴリズムの開発と既存の薬剤データベースの分析を行い、有望な抗がん剤候補を選定。その後、候補物質の合成と実験室での試験を経て、動物実験へと移行する。

#期待される成果: 新たな抗がん剤候補の同定とその有効性・安全性の予測。長期的には、臨床試験への進展とがん治療の新たな選択肢の提供。

#タイムラインと予算: プロジェクト全体の大まかなタイムラインと必要予算の見積もりを含める。

#リスクと課題: 技術的な課題、データの質と量、倫理的考慮事項など、プロジェクト実施におけるリスクと課題の評価。

#結論と次のステップ: プロジェクトの意義を再確認し、次のフェーズへの移行に向けた提案。

研究・開発向けシナリオ・プロンプト④

※出力結果の一部ご紹介

AIとビッグデータを活用した新規抗がん剤の開発プロジェクト

プロジェクト概要

本プロジェクトは、AI技術とビッグデータ分析を組み合わせた新規抗がん剤の開発を目的とする。このプロジェクトは、既存の薬剤データベースと最新の研究成果をAIが分析し、新たな薬剤候補を特定することから始まる。その後、候補物質の合成と実験室での試験を経て、動物実験へと移行する。最終的には、新たな抗がん剤の有効性と安全性を予測し、臨床試験への進展を目指す。

方法

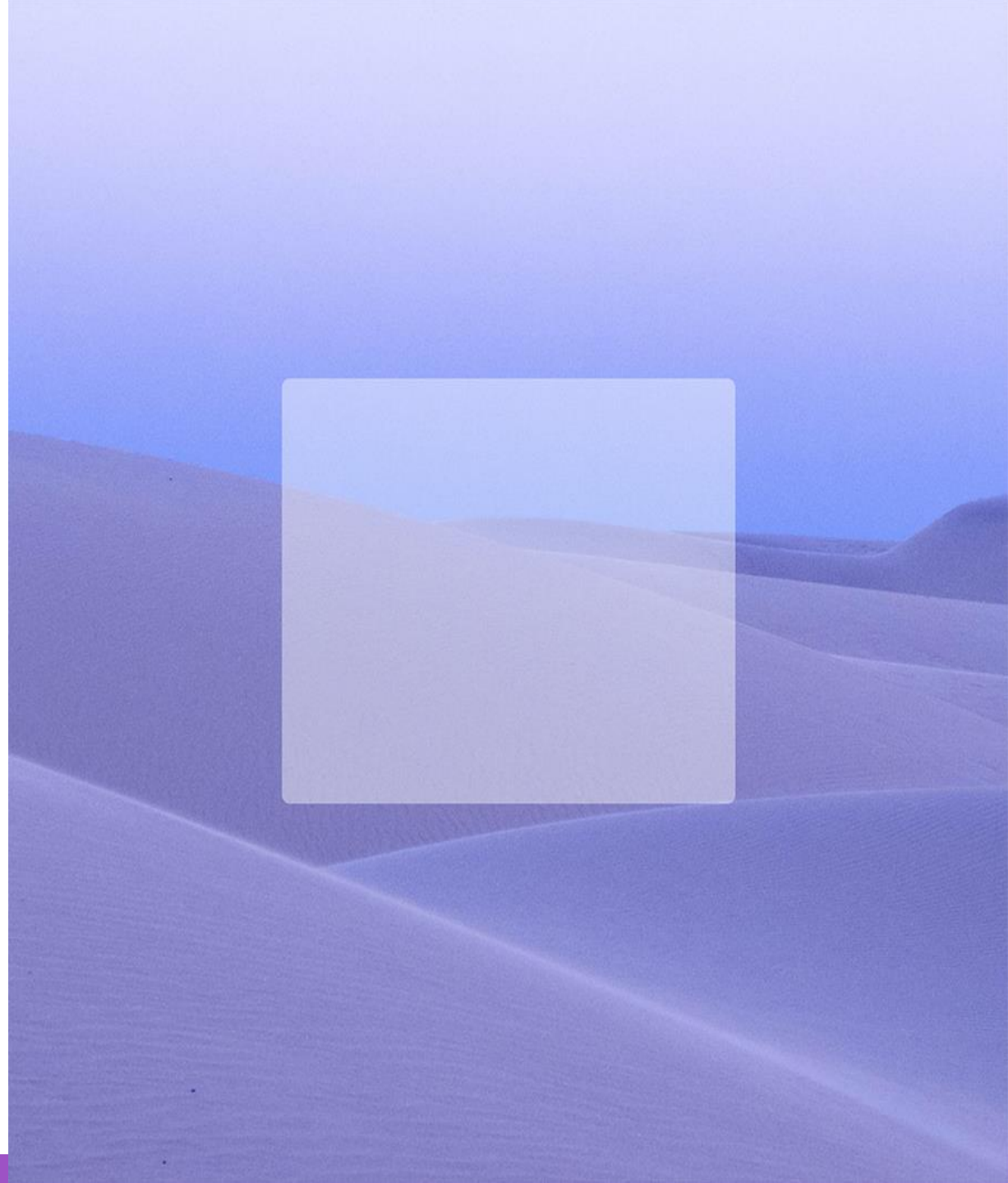
本プロジェクトは、以下の四つのフェーズに分けて実施する。

- **フェーズ1:** AIアルゴリズムの開発と薬剤データベースの分析。AIアルゴリズムは、機械学習や深層学習などの手法を用いて、薬剤の化学構造や生物学的特性、疾患との関連性などを学習する。薬剤データベースは、公開されている薬剤の情報や、最新の研究論文などを含む。AIアルゴリズムは、薬剤データベースを分析し、新たな抗がん剤候補をスクリーニングする。

- **フェーズ2:** 候補物質の合成と実験室での試験。AIが選定した抗がん剤候補を合成し、その化学的安定性や純度を確認する。また、細胞培養や分子生物学的手法を用いて、その作用機序や副作用を解析する。さらに、がん細胞株や臓器チップなどのモデルを用いて、その抗がん効果や選択性を評価する。
- **フェーズ3:** 動物実験。実験室での試験で有望と判断された抗がん剤候補を、マウスやラットなどの動物モデルに投与し、その有効性と安全性を検証する。動物の生存率や腫瘍の増減、血液検査や組織検査などの指標を用いて、その効果と副作用を評価する。
- **フェーズ4:** 予測と報告。AIを用いて、動物実験の結果から、抗がん剤候補の有効性と安全性を予測する。また、プロジェクトの全体的な成果と課題をまとめて報告する。さらに、臨床試験への進展に向けた提案を行う。

他、「背景」、「期待される成果」、「タイムラインと予算」、「リスクと課題」、「結論と次のステップ」を含む、6ページ前後の企画書を作成。

バックオフィス向け シナリオ・プロンプト集



バックオフィス向けシナリオ・プロンプト①

想定シナリオ

- 人事採用担当者が応募者との面談前に職種に応じた質問事項を考える
- ドラフト作成を**Copilot(旧：Bing Chat Enterprise)**で実施
- 上司・部下の面談などにも応用が可能

プロンプト内容

命令

あなたは製薬企業の人事部門の採用担当者です。創薬研究部門のプロジェクトマネージャーの応募者との面談の際の質問事項のドラフトを作成してください。

バックオフィス向けシナリオ・プロンプト①

もちろんです。創薬研究部門のプロジェクトマネージャーの面接質問事項のドラフトを以下に示します。これは参考としてご利用いただければ幸いです。

1. ****経験とスキルについて****

- 過去のプロジェクトでどのようにチームをリードしましたか？
- 創薬研究においてどのようなスキルを持っていますか？

2. ****プロジェクト管理について****

- プロジェクトの計画、実行、監視、制御の方法について説明してください。
- スケジュール遅延や予算超過の際にどのように対処しますか？

3. ****コミュニケーションと協力****

- チームメンバーや他の部門とのコミュニケーション方法は？
- 問題が発生した場合、どのように対応しますか？

4. ****リーダーシップと問題解決****

- チームをモチベーションづける方法は？
- 複雑な問題に直面した際、どのように対処しますか？

5. ****創薬研究に対する情熱****

- なぜ創薬研究に興味を持っていますか？
- どのようにして最新のトレンドや技術を追跡していますか？

これらの質問は、プロジェクトマネージャーのスキル、経験、リーダーシップ能力を評価するのに役立ちます。面接の際に適切なフォローアップ質問を追加することをお勧めします。

バックオフィス向けシナリオ・プロンプト②

想定シナリオ

- 人事採用担当者が中途採用の募集要項を作成する
- ドラフト作成を**Copilot in Word**で実施

プロンプト内容

あなたは製薬企業の採用担当です。創薬研究部門でのプロジェクトマネージャーの募集要項を作成してください。内容には以下の項目を含めるようにしてください。

項目

- 部門
- 業務内容
- 応募資格
- 必要スキル
- 企業文化
- 福利厚生
- 応募方法

バックオフィス向けシナリオ・プロンプト②

創薬研究部門 プロジェクトマネージャー募集

当社は新薬開発におけるイノベーションをリードする製薬企業です。創薬研究部門では、最先端の技術と優秀な人材を活用して、患者さんのニーズに応える革新的な医薬品を開発しています。現在、この部門でプロジェクトマネージャーとして活躍してくれる方を募集しています。

部門

- 創薬研究部門は、研究開発本部の中核を担う部門です。
- 主に、新規ターゲットの探索、化合物のスクリーニング、リード化学、薬理学、毒性学などの研究を行っています。
- 部門内には、様々な分野の専門家がチームを組んで、複数のプロジェクトを推進しています。

業務内容

- プロジェクトマネージャーとして、創薬研究部門のプロジェクトの計画、実行、管理、評価を行います。
- プロジェクトの目標、スコープ、スケジュール、予算、リスクなどを定義し、関係者とのコミュニケーションを円滑に行います。
- プロジェクトの進捗状況や問題点を定期的に報告し、必要に応じて対策を立案し、実施します。
- プロジェクトの成果や教訓を共有し、部門の業務改善に貢献します。

応募資格

- 創薬研究の経験が3年以上ある方
- プロジェクトマネジメントの経験が2年以上ある方
- 生命科学、化学、薬学、医学などの関連分野の学士号以上の学位を持っている方
- 英語のビジネスレベルのコミュニケーション能力がある方

必要スキル

- 創薬研究のプロセスや方法論に精通していること
- プロジェクトマネジメントのツールや手法を効果的に使えること
- 論理的かつ創造的に問題を解決できること
- チームワークやリーダーシップを発揮できること

企業文化

- 当社は、患者さんのために最高の医薬品を提供することを使命としています。
- イノベーションを重視し、常に新しい挑戦に取り組んでいます。
- 社員の多様性を尊重し、個性や能力を最大限に発揮できる環境を整えています。
- 社員の健康や幸福を大切にし、ワークライフバランスを支援しています。

福利厚生

- 給与：経験や能力に応じて決定します。
- 賞与：年2回（6月、12月）
- 昇給：年1回（4月）
- 社会保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 退職金制度：確定拠出年金制度
- 交通費：全額支給
- 勤務時間：フレックスタイム制（コアタイム：10:00～15:00）
- 休日：土日祝日、年末年始、夏季休暇、有給休暇、慶弔休暇など
- 教育制度：社内外の研修やセミナー、海外留学など
- 福利厚生：社員食堂、社員寮、保養施設、社内クラブなど

応募方法

下記の応募フォームから必要事項を入力し、履歴書と職務経歴書を添付して送信してください。

応募フォームのURL：[URL]

応募締切：2024年6月30日

選考プロセス：書類選考、一次面接、二次面接、最終面接、内定

問い合わせ先：採用担当 山田 メールアドレス：[email address]

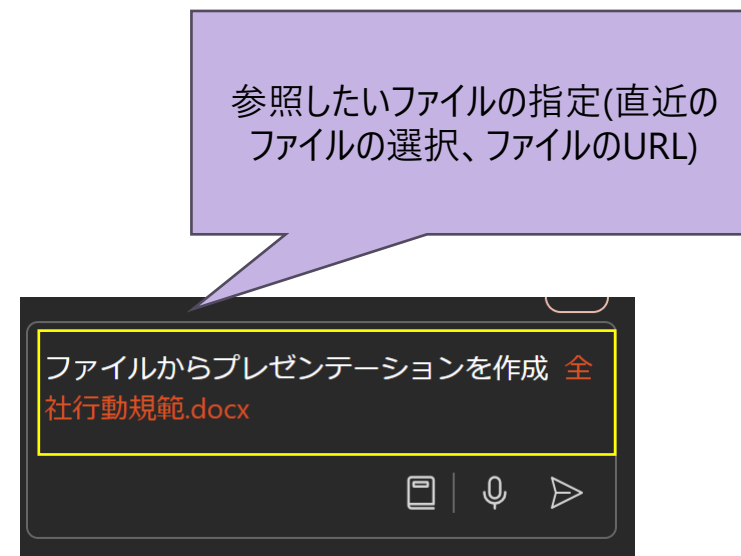
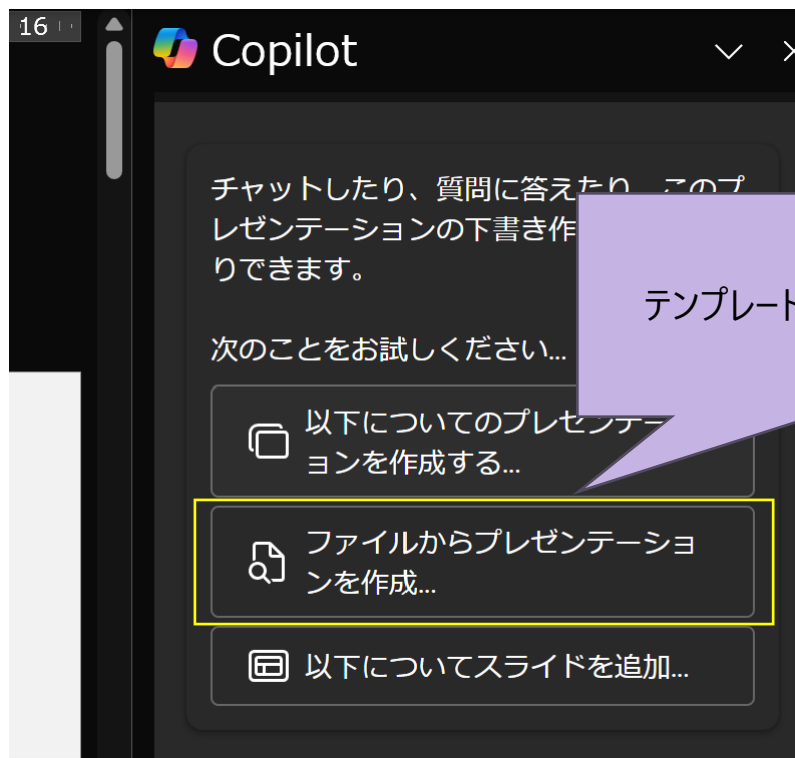
バックオフィス向けシナリオ・プロンプト③

想定シナリオ

- 経営企画部門が新入社員に全社行動規範を説明する為のプレゼンテーションを作成する
 - * 事前にWordファイルで行動規範の内容を準備しておく
- ドラフト作成を**Copilot in Power Point**で実施

プロンプト内容

ファイルからプレゼンテーションを作成 [ファイルのURL]



バックオフィス向けシナリオ・プロンプト③

出力

挑戦と創造の精神

- 新しい知識と技術の追求
- 医療の課題に対する革新的なアプローチ
- 医療の課題への挑戦
- 革新的なソリューションの創造

私たちは医療分野での新しい知識と技術を追求め、医療の課題に挑戦して、革新的なソリューションを創造することに尽力しています。

Original Content:
1 挑戦と創造: 私たちは、常に新しい知識と技術を求め、医療の課題に挑戦し、革新的なソリューションを創造します。

読み込んだWordに記載されている
内容からスライドノートを自動で作成

社会貢献活動

- 医療啓発活動
 - 健康に関する知識と意識の向上を図る
- ボランティア活動
 - 地域社会の支援と連携を強化
- 社会福祉団体への寄付
 - 福祉サービスの提供と拡充に貢献



多様性と包摂の推進

- 多様な価値観の尊重
- 異なるバックグラウンドを持つ人々の活躍
- 包摂的な環境の構築
- 互いの尊重と支援の文化



環境保護への取り組み

- 環境保護の重要性
 - 環境への影響を最小限に抑える
- 省エネルギーの実施
 - エネルギー消費の削減
- 省資源の推進
 - 資源の有効活用
- 廃棄物削減の努力
 - 廃棄物の発生を減らす



競争法の遵守

- 競争と価格競争
 - 私たちは患者様の健康と生活の質の向上を使命とし、革新的な医薬品の提供に努めます。
- 医療者との適切な関係
 - 医療者との関係は、透明性と倫理的な基準に基づいて築かれます。
- コンプライアンスと法令遵守
 - 法令や規制を遵守し、高い倫理基準を維持することで信頼を築きます。
- 社会的責任と持続可能性
 - 持続可能な社会の実現に貢献し、環境保護にも配慮します。
- 倫理と透明性
 - 全ての業務において透明性を確保し、倫理的な判断を行います。



内容をイメージする画像の挿入

バックオフィス向けシナリオ・プロンプト④

想定シナリオ

- 総務部門が職場環境に関するアンケートの内容を考える
- ドラフト作成を**Copilot in Forms**で実施

プロンプト内容

あなたは製薬企業の総務担当者です。全社員を対象にリモートワーク環境の満足度を調査したいので、現状の満足度と改善点を特定する為の項目を洗い出すアンケートを作成してください。

バックオフィス向けシナリオ・プロンプト④

出力

リモートワーク環境に関するアンケート

このアンケートは、製薬企業の全社員を対象に、リモートワーク環境に関する満足度と改善点を特定するためのものです。お答えいただいた内容は、今後のリモートワーク環境の改善に役立てさせていただきます。

こんにちは、Naoki。このフォームを送信すると、所有者に名前とメールアドレスが表示されます。

1. 現在のリモートワーク環境について、どの程度満足していますか？

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

2. リモートワークをする上で、最もストレスを感じることは何ですか？

- コミュニケーションの不足
- 業務の遅延
- モチベーションの低下
- その他

3. リモートワークをする上で、最も快適に感じる環境は何ですか？

- 自宅
- カフェ
- 図書館
- その他

4. リモートワークをする上で、最も重要だと思う要素は何ですか？

- 安定したインターネット環境
- 適切な作業環境
- 効率的なコミュニケーション手段
- その他

5. リモートワークをする上で、最も不便だと思う要素は何ですか？

- 社内での情報共有が難しいこと
- 業務上必要な機材が自宅にないこと
- 社員同士のコミュニケーションが難しいこと
- その他

6. リモートワークをする上で、最も改善してほしい点は何ですか？

回答を入力してください

7. リモートワークにおいて、今後も継続してほしいことは何ですか？

回答を入力してください

8. リモートワークにおいて、今後改善してほしいことは何ですか？

回答を入力してください

9. リモートワークにおいて、今後導入してほしいシステムやツールはありますか？

回答を入力してください

10. リモートワークにおいて、今後改善してほしいシステムやツールはありますか？

- ビデオ会議システム
- チャットツール
- タスク管理ツール



- 本書に記載した情報は、本書各項目に関する発行日現在の Microsoft の見解を表明するものです。Microsoftは絶えず変化する市場に対応しなければならないため、ここに記載した情報に対していかなる責務を負うものではなく、提示された情報の信憑性については保証できません。
- 本書は情報提供のみを目的としています。Microsoft は、明示的または暗示的を問わず、本書にいかなる保証も与えるものではありません。
- すべての当該著作権法を遵守することはお客様の責務です。Microsoftの書面による明確な許可なく、本書の如何なる部分についても、転載や検索システムへの格納または挿入を行うことは、どのような形式または手段（電子的、機械的、複写、レコーディング その他）、および目的であっても禁じられています。これらは著作権保護された権利を制限するものではありません。
- Microsoftは、本書の内容を保護する特許、特許出願書、商標、著作権、またはその他の知的財産権を保有する場合があります。Microsoftから書面によるライセンス契約が明確に供給される場合を除いて、本書の提供はこれらの特許、商標、著作権、またはその他の知的財産へのライセンスを与えるものではありません。

© 2024 Microsoft Corporation. All rights reserved.

Microsoft, Windows, その他本文中に登場した各製品名は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載されている会社名および製品名は、一般に各社の商標です。